

診療中に「犬が遊んでいるうちにスポンジをのみ込んだ！」と飼い主が駆け込んできた経験があります。犬や猫は、私たちには想像もつかないような「異物」をのみ込んでしまうことがあるので、日頃から注意しておくことが大切です。

異物をのみ込むと、腸管に詰まって腸閉塞を起こす可能性があります。犬の場合、ボタンや果物の種といった小さい物から、靴下やフェースタオルなどの大きな物でも丸ごとのみ込んでしまうケースがあります。猫は、ひもやポリ袋でじゃれて遊んでいるうちに、これらをのみ込んでしまうことが多いようです。



誤飲に注意

また、焼き鳥やフランクフルトなどを串ごとのみ込んでしまった場合、串が消化管を傷つけるだけではなく、胸腔内に刺さってしまう事故も発生しています。

誤飲を防ぐ対処法としては、犬や猫が興味を持ちそうな物をこまめに片付けることが有効です。しかし、どんなに注意していても、予想外の場所から物を引っ張り出し、口にくわえていることもあります。

そのときは、慌てて取りあげないように注意してください。口にくわえているものを

無理に取ろうとすると、犬や猫は「取られたくない」との思いから、そのままのみ込んでしまうことがあるからです。緊急でなければ、おやつや音の鳴る物などで気をそらしながら、その間に取り上げる方法がお勧めです。

好奇心旺盛な性格の犬や猫は、誤飲を繰り返す傾向があります。近くで様子を見られない場合は、ケージの中といった安全な場所で留守番させることなどを習慣にしてほしいと思います。

(アニコム損保
獣医師 松山美咲都)